

1. 施設整備

	タイトル	意見等
1	親子広場について	駐車場完備の公園も増やしてください。県所有の空き地沢山あります有効活用お願いします。
2	アリーナの整備	○後藤田正純徳島県知事はアリーナの整備については、JR徳島駅北口（新設）と直結するものでなければならない。 ※ 東京有明アリーナ ⇒東京臨海新交通 ゆりかもめの新豊洲駅又は有明テニスの駅と直結 ※ 横浜アリーナ ⇒JR東海道新幹線の新横浜駅、JR横浜線の新横浜駅、東急電鉄及び相模鉄道の新横浜線の新横浜駅、横浜市営地下鉄ブルーラインの新横浜駅と直結 ※ さいたまスーパーアリーナ ⇒JR京浜東北線のさいたま新都心駅・JR宇都宮線及びJR高崎線（JR上野東京ライン）のさいたま新都心駅と直結 ※ 千葉幕張メッセ ⇒JR京葉線の海浜幕張駅と直結
3	眉山山頂に万博徳島県ゾーンの移設を	眉山山頂の再整備については、キャンプ場や長いすべり台を設置するほか、2階建ての施設を作り、カフェや売店、多目的広場などを設けるようです。一方、大阪・関西万博では徳島県ゾーン（関西パビリオン）の藍染めや阿波踊りAI体験が好評のようです。是非万博徳島県ゾーンを県市協調で移設し、住民も観光客も万博のレガシーを楽しめる施設にすると良いと思います。また、以前アミコにあったプラレタリウムを再整備し、阿南市科学センターの協力を得て天文台及び宇宙観察用望遠鏡を設置すると、子供達の学習にも役立つでしょう。
4	あすたむらんどについて	ニュースでの報道を受けて意見します。 後藤田知事はあすたむらんどについてしっかりと確認を取らずに発言されているように感じましたので。 メインコンテンツである「吉野川めぐり」が修理で長期間中止になっていました。 収益よりも、安全を優先し吉野川巡り利用中止にしたことは評価します。また、特注品であろう修理パーツを手配できた事に驚きです。 古いアトラクションであり、しかも、特注品と思われるアトラクションを修理できたのは凄いです。 私には小学生女子の娘がいます。吉野川めぐりが無くても楽しめるように特別にイベントをやってくれたり、キッチンカーがいたり、楽しめる工夫が素晴らしい。指定管理者の創意工夫は素晴らしい。 また、物価高でもものすごい値上げラッシュの中、あすたむらんどは手頃価格で親としてもありがたい。 立地も良く、ちょっとドライブ。わざわざ遊びに行くという特別感も良い。 指定管理者を解除しようと政治的に動いているように感じますが、今後も同じ業者に指定管理をお願いしたいです。 子どもを安く遊ばせる事が出来る事。園内をスタッフや警備の方が回っており（コストはかかるとされる）安心して過ごせる。 もし、指定管理者が変わり、収益性を追求した場合、コンテンツが高くなる。コストカットで人員削減でスタッフの巡回が疎かになる。可能性があります。 私が小さい頃に整備された公園の遊具は老朽化で撤去。その後、新設される事も少なく、子どもが楽しめる環境がどんどん減っています。 若者の流出。出生数の低下が問題になっている徳島だからこそ、子育て世代に優しい施設を徳島県としてあすたむらんど守ってもらいたいです。
5	turntable徳島（徳島県内）	徳島市出身で、大学進学で徳島を離れ、関東で働いています。 関東で働き始めて地方創生のお話を聞くたびに出身地以外で働くことにやや罪悪感を感じながら過ごしていました。 オリンピックが日本で開催され、たとえ赤字だったとしても、宣伝効果が、日本へ旅行者が増えるとして、その人たちが地方の徳島へ来てくれると思うか？と半ばそう言った催しの成功を祈る気持ちと、冷やかにそれで地方に人は来るのか？と自問自答してきました。 そんな中、昔turntableが開業した時に、食事のできる、泊まれるアンテナショップというコンセプトは、地方創生のために訪日観光客へターゲットを絞ったよくできた提案だと、少なくとも私は思っていました。 渋谷神泉のビルは家賃が高いですが、徳島駅前是非常に閑散としています。ぜひ徳島にも同じような宿泊施設を作ってください。 なんとか黒字になるといいのと思っています。

1. 施設整備

	タイトル	意見等
6	県西部の住民の健康維持 温水プール	徳島県が一番西部にある温水プールが存続の危機にあります。私はこちらの一利用者ですが、東みよし町にあるこの民間の温水プールは公共のものも含め県で一番西にある温水プールです。なんとか県や周辺自治体も含め、温水プールと浴場を備えたこの施設の維持を考えて頂きたいです。例えば修繕して公共性を高め、さらに多くの人たちに利用して頂ければ県が力を入れる価値はあるかと思います。この温水プール施設は、地域の人々の健康維持にすでに大いに貢献しています。東みよし町だけでなく近隣の地域からも多くの人が通っており、特に高齢者の健康維持に大きく貢献しています。私自身もこちらに通い健康を取り戻しました。平日の夕方や土曜日の午前中などは子どもたちのスクールがあり多くの子どもが通っています。このプールの施設自体は現在老朽化が進んでおり、また昨今の燃料費の高騰など多くの問題を抱え今存続の危機にあります。水中運動の効果は広く認知されていますが、こちらがなくなれば多くの人たちの健康寿命が脅かされ、子どもたちが季節を問わず身体を動かせる施設がなくなります。また、ここは人々の交流の場にもなっており、特に高齢者の方々は孤立化の防止にもなっています。 県の西部は人口減少や高齢化が進んでいる地域ですが、県としても効果的な策が必要だと思います。すでに多くの人がこの施設（温水プール、ジム、お風呂のある施設）に魅力を感じて自ら会費を支払い健康維持のために利用しています。もしこれが官民連携の施設となり、もっと手ごろな値段で利用できればより多くの人々の利用が見込めることは確実です。それによって医療費や介護保険の利用も抑えられる可能性も高いはずです。 難題ですが、県西部のことにも心を寄せて頂けたらと思います。後藤田知事の言うように前例踏襲を打ち破る形で今までにない新しい切り口でなんとか県西部の人々の健康増進のために知恵を絞って頂けたらと思います。周辺の企業などにも協力を得よう働きかけて頂くことなども一つの策かもしれません。利用者の健康維持への貢献度や実態を調査して頂ければその価値がわかると思います。お願い致します。